広報にしあいづ
Nishiaizu
令和3年 1月号
Jan. 2021 No.747

もくじ ― Contents ―

P2 特集1 新年のごあいさつ
P4 特集2 新春特集 年男・年女インタビュー
P6 特集3 町指定重要文化財に新たに3件を追加
P9 まちの話題
赤い羽根共同募金を引き渡し、地域の担い手文化彩 ほか

慶春

西会津町長　薄　友　喜

新年明けましておめでとうございます。

令和3年の初春を、町民の皆様と共に迎えられたことに心からお慶び申し上げます。

昨年は本町にとって大変うれしいことがありました。ふるさと応援寄付金が1億円を超えることとなり、多くの皆様からの応援に感謝するとともに、この財源を活用した特色あるまちづくりを進めるため、本年はさらなる増額に向けて努力してまいります。

さて、皆様ご承知のとおり、昨年から続く新型コロナウイルス感染症の猛威は、国内外はもとより町内経済や私たちの日常生活に長く大きな影を落としております。町内各所において、徹底した感染症対策を講じていただいておりますが、町民の皆様には、新しい生活様式への順応など何かとご苦労をおかけしている状況であります。

町といたしましては、町民の皆様の生命と健康を第一に考え、各種感染症対策を徹底してまいりますので、引き続き、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

町では、「西会津町総合計画」で掲げた町の将来像「笑顔つながり　夢ふくらむまち～ずーっと、西会津～」の実現に向け、「健やかな人をともに育むまちづくり」、「温故創新　地産地笑のまちづくり」、「いきいき健康　こころつながるまちづくり」、「誰もがここちよく暮らせるまちづくり」の4つの方向性のもと、10の重点プロジェクトを展開しています。

本年も、昨年から継続した人口減少対策の三本柱として、人材育成、移住・定住の促進、健康長寿を事業推進の基本的考え方に定め、町民の皆様との公約の実現のため、全力で取り組む覚悟であります。

①人材育成

現在取り組んでいる保育サービスをはじめとした各種事業の強化・拡充により、子育て環境の一層の充実を図るとともに、小中学校の児童生徒全員に一人一台のタブレットパソコンの配布、全教室への電子黒板の設置、高速通信ネットワークの整備により、小中学校のGIGAスクール化が図られたことから、これらICT教育環境を最大限に活用した児童生徒の「学校での学び」と「家庭学習」による「新しい学び・ハイブリット型学習」を推進し、未来を担う人材の育成・確保に取り組んでまいります。

②移住・定住の促進

連携協定を締結している関係自治体などとの交流促進を図りながら、コロナ禍におけるテレワーク、サテライトオフィス、ワーケーションなど、都市部から地方への人の流れに対応した移住施策を講じてまいります。また、高速通信環境の整備を進めるとともに、町デジタル戦略をはじめとした先進的なICTのまちづくりに取り組み、働く場の創出や空き家対策を含めた環境整備を図りながら、積極的な移住施策を展開してまいります。さらに、野沢・尾野本地区の中心エリア活性化に向けた取り組みも進めてまいります。

若者たちが、夢と希望の持てるまちづくりを進めてまいります。

③健康長寿

長野県諏訪中央病院名誉院長の鎌田實先生の指導により、健康で長生きできるまちづくりを進めています。引き続き、本年も各集落に入って健康に対する意識の高揚と、ラジオ体操などを普及させ、町をあげて健康づくりを進めてまいります。

また、奥川地区に整備する小規模多機能型居宅介護施設の適切な管理運営にも努めてまいります。

本年も職員と一丸となって取り組んでまいりますので、皆様の特段のご理解とご協力を賜りますよう衷心よりお願い申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

西会津町議会議長　清野佐一

明けましておめでとうございます。

町民の皆様におかれましては、輝かしい希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は議会に対しまして特段のご理解・ご高配を賜りまして、心より感謝申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、これまでの生活が一変いたしました。

議会においても、感染防止のため、議場での手指消毒やマスクの着用、換気の実施、一般質問の時間短縮などの取り組みを行いました。

また、議会基本条例制定以来実施してまいりました「町民と議会との懇談会」も中止せざるを得なくなり、懇談会では議会の内容をお伝えするとともに、町民の皆様から様々なご意見や貴重なご提言をいただいておりましたが、皆様と意見交換することができず、誠に残念でありました。

このような中、町民の皆様の生命と健康、生活を守るため、3回にわたり町に対して新型コロナウイルス感染症対策に関する要望を行い、町民生活の支援に努めてまいりました。

【議会活性化の取り組み】

地方を取り巻く状況は、人口減少、経済・社会の持続性の低下など、多くの厳しい課題に直面しております。

本町においても総合計画に基づき、少子・高齢化の急速な進行や過疎化対策だけでなく、福祉の向上、経済の活性化、住みよいまちづくりなどに取り組んでいかなければなりません。

こうした中、議会は政策形成や意思決定機関として、また執行機関の監視、評価機関としてその役割を十分に発揮していかなければなりません。その機能を発揮するためには議会の活性化を進めることが必要です。

議会では現在、議会活性化特別委員会を設置し、町民の皆様に議会に参画していただく制度の検討、議会においてのデジタル化の検討、政策提言・立案に関する資質の向上、議会基本条例の検証に取り組んでおります。

本来であれば町民の皆様との意見交換や調査を実施し、議会活性化に向けて活動を行うところでありますが、新型コロナウイルス感染症の影響により十分にできない状況となっております。

本年は、昨年できなかった分も含めて、調査・検討を実施し、活発な議会運営に反映できるように努めてまいります。

【協働のまちづくり】

この新しい年にあたり、町民の皆様が安心して健やかに暮らせるまちづくりに向け、町民の皆様と議会、町と議会の絆をしっかりつなげながら魅力あるまちづくりの実現に全力を尽くしてまいります。

結びに、本年が皆様にとりまして、実り多き一年となりますことと併せ、新型コロナウイルス感染症が早期に終息することを心から祈念いたしまして、年頭のごあいさつといたします。

新年の抱負

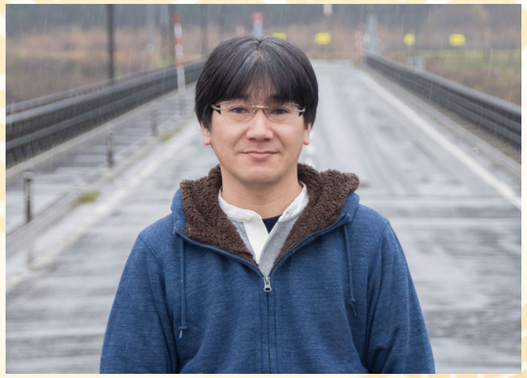
明けましておめでとうございます。
新春1月号では、恒例の新年特集として、今年の干支である「丑年生まれ」の皆さんに、新年の抱負や夢を伺いました。
今年の目標をすでに決めている人にとっても、これからの人にとっても、皆さまの新たな一年が輝かしい年になりますよう心からお祈り申し上げます。

岩倉（いわくら） 洋子（ようこ）さん

昭和24年生まれ　上野尻

昨年は私にとって大変有意義な年でした。それはコロナ禍での外出自粛や、いろいろな行事も自粛となり、自分の時間がたくさんとれて仕事がはかどったからです。日頃できない場所の片付け、不用品の処分、野菜作り、草むしり、色とりどりの花を咲かせ楽しんだこと、孫たちとのふれあいの時間が多く持てたことで、良い時間を過ごすことができました。

新年は、昨年に「今年こそは！」と思っていてできなかった水彩画と切り絵に絶対挑戦してみたいです。健康に留意しながら、年女の1年を牛のように一歩一歩進み、ある時には突進しながら過ごしていきたいです。



古川（ふるかわ） 友樹（ゆうき）さん

昭和48年生まれ　橋屋

昨年は私自身は大きな病気やけがもせず無難に過ごすことができた1年間でした。町体育協会の支部長を務めさせてもらっていますが、コロナ禍で全ての事業が中止となってしまい、多くの皆さんに心配や迷惑をかけたと思います。そうした皆さんに日頃から支えてもらっていることをつくづく感じ、感謝の気持ちでいっぱいです。

今年は新型コロナウイルス感染症の終息を願い、皆さんに楽しんでいただけるような事業を企画していきたいと思います。皆さんの参加をお待ちしています。私個人としては、新しい節目となる年なので、小学生になる息子と一緒に気持ちを切り替えて、何事にも挑戦し、親として成長できればと思います。

眞部（まなべ） 碧葉（あおば）さん

平成21年生まれ　芝草

昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響で小学校が休みになったり、スポーツ少年団の大会が中止になったりと、楽しみにしていたことが無くなってしまい寂しい1年でした。

今年、小学校最後の1年の目標は、ボートの全国大会で優勝することです。そして、中学生になったら中学の全国大会で、1年生のうちから入賞できるように練習を頑張って準備していきたいと思います。

矢部（やべ） 穂乃香（ほのか）さん

平成9年生まれ　中町

昨年はなんといっても新型コロナウイルスの流行により、世の中全体がこんなにも暗い1年になるとは思いもしませんでした。職場の子どもたちが楽しみにしていた行事が立て続けに規模縮小や中止せざるを得ず、やるせない思いが残る1年でした。また、弟が昨年から大学生になりましたが、コロナ禍の影響でリモート授業での生活をスタートさせました。

今年は第一に新型コロナウイルス感染症の一刻も早い終息を願い、昨年できなかった旅行や、遠くの友人にたくさん会いに行けたらと思います。加えて、健康に過ごせることが当たり前ではないということを昨年を通し痛感したので、家族みんなが健康で明るい1年にしていきたいです。

青津（あおつ） 龍（りゅう）さん　千恵美（ちえみ）さん

平成21年生まれ、昭和60年生まれ　縄沢

龍さん　昨年はコロナ禍でどこにも出かけられなかった1年でした。そんな中で農作業を行い、ニラを育てて食べました。今年は勉強を頑張りたいと思っていて、特に算数の勉強に力を入れたいです。

千恵美さん　昨年は新型コロナウイルス感染症の影響で緊急事態宣言が出され、遠出することができなかったので、子どもたちには寂しい思いをさせてしまいました。ただ、自分を含め家族みんなが大きな病気をせずに1年過ごすことができたのは良かったです。今年は、新型コロナウイルスが落ち着いたら、子どもたちと遠出して遊びに行きたいです。あとは、できればダイエットにも頑張って取り組みたいです。

町指定重要文化財一覧

［令和２年 11 月１日現在］

No.	種別	名称	指定年月日
1	絵画	日本志東山 陸奥出羽国図	S45.10.30
2	彫刻	岩屋虚空蔵菩薩坐像・脇侍	
3	典籍	龍泉寺鉄眼判大般若経	S47.1.17
4	絵画	龍泉寺絹本著色仏涅槃図	S47.3.22
5	絵画	龍泉寺絹本著色十六善神像	
6	有形民俗資料	金蔵寺歓喜天社絵馬	S47.12.26
7	天然記念物	大久保の念仏杉	
8	天然記念物	安座・堀越山のコウヤマキ	S50.1.17
9	歴史資料	安藤有益関係資料一括	
10	歴史資料	真福寺大般若波羅蜜多経第一・同経典裏打文書	S50.1.21
11	彫刻	西光寺木造阿弥陀如来坐像脇侍・胎内仏	S55.4.9
12	工芸品	木製花瓶一対	
13	天然記念物	宇陀帰山大山祇神社参道杉並木と境内社木	
14	天然記念物	安座赤城山神社の社木 コウノヤマ・アスナロ・モミ	
15	史跡	野沢諏訪神社前の一里塚	S58.2.18
16	有形民俗資料	屋敷人形芝居道具一式	
17	工芸品	如法寺金口（鰐口）	
18	工芸品	如法寺観音堂高欄擬宝珠	
19	工芸品	良寛筆摸刻「松尾大明神」社額	S60.7.30
20	史跡	大杉山村慶長地震遭難者供養塔	
21	有形民俗資料	龍蔵寺薬師瑠璃光如来おみくじ用具一式	S62.4.1
22	工芸品	如法寺大般若経唐櫃	S63.4.1
23	工芸品	如法寺御正体・銅造聖観音坐像懸仏	
24	工芸品	旧善応寺御正体・銅造薬師如来坐像 懸仏	
25	史跡	高目村石造名号塔婆（板碑）	
26	史跡	西光寺宝篋印塔	H1.4.1
27	史跡	楢木峠「上様御小休所」碑	
28	史跡	宝川の一里塚	H2.4.25
29	天然記念物	地境の柿の木	
30	天然記念物	下條の普賢象桜	
31	彫刻	善光寺式銅造観音菩薩立像・善光寺式銅造勢至菩薩立像	H3.6.1
32	史跡	享保 句碑	
33	歴史資料	慶長八年大杉山村御水帳	H6.3.24
34	天然記念物	安座弘法岩周辺の植生	H12.4.25
35	天然記念物	ギフチョウ	H27.4.16
36	天然記念物	キマダラルリツバメ	
37	彫刻	如法寺木造聖観音菩薩坐像	H29.11.16
38	彫刻	如法寺木造三十三観音応現身像	H31.2.28
39	**歴史資料**	**長谷沼家資料**	**R2.10.22**
40	**考古資料**	**芝草・小屋田遺跡出土品**	
41	**考古資料**	**上小島遺跡出土品**	

▲ 阿弥陀寺御三階（会津若松市・七日町）

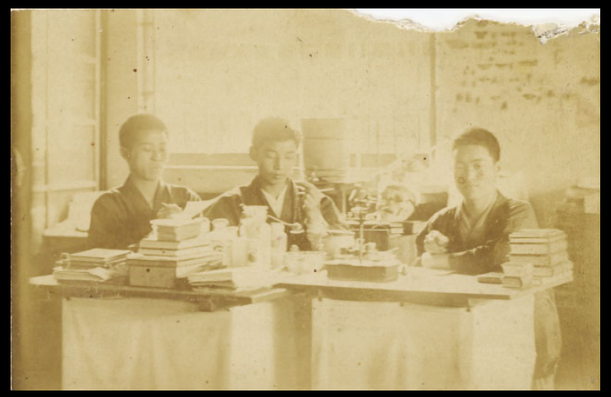
▲ 栄螺（さざえ）堂（会津若松市・飯盛山）

町指定重要文化財に新たに３件を追加

10 月 22 日、町指定重要文化財として「長谷沼家資料」「芝草・小屋田遺跡出土品」「上小島遺跡出土品」の３件が新たに加わりました。

文化財とは、人類の長い歴史の中で生まれ、育まれ、今日まで守り伝えられた貴重な財産であり、地域の特性や魅力を持ち合わせた宝物です。

今月号では、その３件の文化財について紹介します。



▲ 会陽医院時代の野口清作（写真右）

▶会陽医院

▶七日町（会津若松市）

No39. 長谷沼家資料

種別：重要文化財（歴史資料）
年代：明治時代中期～昭和時代初期

「長谷沼家資料」は、長谷沼兵作（ひょうさく）が明治中期から昭和初期にかけて収集した写真を中心とした資料 470 点になります。

長谷沼兵作は明治６年（1873）に高目村に生まれました。渡部鼎（かなえ）が明治 23 年 (1890)、会津若松で会陽医院を開設すると、書生として住み込み、医学や英語を学び、また後輩の指導にもあたりました。その中には左手を手術した会陽医院に入門し、医学の道を志した野口清作（のちの英世）もいました。その後、兵作は鼎とともに上京し、付き人として一生を過ごし、昭和７年（1932）、59 歳で亡くなりました。

この資料は、兵作の幅広い交友関係を示す友人・知人の写真が最も多く、会陽医院時代の清作が写っているものもあります。また、明治中期の若松や福島などの風景や建物の写真も多く残され、阿弥陀寺御三階（あみだじごさんかい）のもっとも古いとされる写真や会陽医院の建物を写した現存唯一の写真など、当時の様子や人々の風俗などを知ることができる非常に歴史的価値の高いものになります。

（写真撮影・小川忠博氏）

No40. 芝草・小屋田遺跡出土品

種別：重要文化財（考古資料）
年代：縄文時代中期～後期

芝草・小屋田遺跡は野沢字浦道添、芝草後、小屋田に位置する東西 300 m、南北 320 m、総面積約 70,000㎡の今から約 5,000 年前にあった大集落跡になります。

この遺跡の発掘調査は国道 49 号の改良工事などによりこれまでに 3 回行われ、竪穴住居や敷石住居、土坑などが見つかりました。今回の出土品は調査で発見された縄文土器のほか土偶などの土製品、石鏃（せきぞく）や石斧などの石器・石製品 353 点で、狩猟や生活などで使っていたものになります。

No41. 上小島遺跡出土品

種別：重要文化財（考古資料）
年代：縄文時代中期～後期

上小島遺跡は上小島集落の北東約 500 mの登世島字塩田、舟場上、馬場下に位置する縄文時代中期の大集落跡で芝草・小屋田遺跡と同じ年代になります。上小島遺跡のすぐ北側には阿賀川が流れ、日本海から遡上するサケやマスを取り、近くの山からは山菜、きのこ、ドングリなどのほか、クマやタヌキなどの野生動物を捕獲するなど、山や川から豊かな恩恵を受けていました。

上小島遺跡の発掘調査はこれまでに 2 回行われ、今回はその調査で出土した縄文土器や石器など 895 点を指定しました。

（写真撮影・小川忠博氏）

西会津町から出土した縄文土器の重要性

芝草・小屋田遺跡や上小島遺跡からは独特な文様や造形を持つ芸術的にも価値が高い縄文土器が数多く出土しています。そもそも西会津町は会津地方西部に位置し、北陸、関東、東北の三大文化圏が重なる特異な地域です。西会津町で出土した縄文土器にもそれぞれの文化圏で作られた文様、造形などの特徴が混ざり合い、種類に富んだ土器が多くみられます。

また、縄文時代中期の土器といえば新潟県信濃川流域の「火焔型土器」が有名ですが、近年の研究ではその起源は会津地方西部にあるという学説が有力になっています。土器の上部に付けられた横S字状文が、徐々に頂部にせり上がり、それが鶏のトサカのような鶏頭（けいとう）冠（かん）やギザギザ模様の鋸歯（きょし）状文など多様な文様や造形に変化し、発展していったとされ、西会津町から出土した縄文土器の中にもその過程を観察できるものがあります。

現在、芝草・小屋田遺跡と上小島遺跡の出土品は、旧新郷小学校で保管しています。

文化財を次世代へ継承する

文化財は、先人の不断の努力によって保存・継承されたものであり、私たちの誇りといっても過言ではありません。町ではこれらの文化財を指定・未指定にかかわらず、保存して次世代に引き継ぐとともに、地域おこしや観光の資源として活用していきます。

〈問い合わせ先〉町公民館 ☎45―3244

「やさしさの エールを贈ろう 赤い羽根」

赤い羽根共同募金を引き渡し

西会津小・中・高生が各校で集めた赤い羽根共同募金を町へ引き渡しました。10 月 21 日には西高、11 月 4 日に西小、同 20 日に西中から代表の児童生徒がそれぞれ町長室を訪れ、町共同募金委員会長である薄町長へ募金箱を手渡しました。

児童生徒は登校時に昇降口に立ったり、校舎内を回るなどして募金活動を行いました。薄町長は「皆さんの大事なお小遣いから集めた募金は、町内の福祉活動事業で有効に使わせていただきます」と感謝の言葉を述べました。

▲ 左から簗田まりなさん、皆川暖さん、伊藤心音さん、長谷川瑞希さん、博多弘泰校長（西会津小学校）

▲ 左から清野亜依莉さん、菊地楓花さん、武藤真結さん、小久保美里教諭（西会津高校）

▲ 左から折笠遥南さん、伊藤詩野さん、鈴木正人さん、岩倉沙英子さん、佐瀬大地教諭（西会津中学校）

県内の地域おこし協力隊がブースを出展

地域の担い手文化彩

福島県内の地域おこし協力隊の活動を見て、体験して、触れるイベント「地域の担い手文化彩（さい）」が、11 月 14 日に西会津国際芸術村で開催されました。イベントでは、各市町村ごとにブースが設けられ、地域産品を活用した商品の販売や伝統工芸品の展示、隊員の活動や活動地域の紹介などが行われました。

また、同会場では「福島ものづくりの未来展－地域おこし協力隊の活動から－」と題し、隊員の皆さんが活動の中で手掛けた張り子、編み組み細工、焼き物、木工などの作品の展示も行われました。

ＩＣＴに慣れ親しむ

初めての人のためのタブレット講習会

11 月 16 日、17 日の 2 日間、2 回に分けて「初めての人のためのタブレット講習会」が町役場で行われ、合計 28 人が参加しました。

講習会では江添信城教育長を講師に、タブレットの基本的な操作について講習を受けました。受講生は、初めてのタブレットの操作に悪戦苦闘しながら、写真を撮ったり、ＱＲコードを読み取って動画を見たりしていました。受講生の中には、タブレットに関心を持った人も多く、次回のステップアップの講習会を希望する声もありました。

西会津のそば打ち名人が腕を振るう

さゆりオートパークで新そば祭り

※写真は28日に開催された模様。

11 月 28 日、29 日にさゆりオートパーク管理棟で新そば祭りが開催されました。例年、各地区で開催されているそば祭りの中止が相次ぐ中、ロータスイン主催で行われたこの新そば祭りは、前売りチケット制や時間指定、持ち帰りなどの新型コロナウイルス感染症対策をとった上で行われました。

関係者によると、今年はそばの収穫量が多い上に品質も高く、大豊作の年だったということです。

大山さゆり太鼓体験や芸術村のアーティストとのコラボも

西高でミニ文化祭

11 月５日、６日の２日間、西会津高校でミニ文化祭が開催されました。冒頭に大山さゆり太鼓の皆さんの演奏を鑑賞した後、生徒が実際に太鼓をたたいて演奏体験をしました。クラスごとのステージ発表の場面では、西会津国際芸術村のアーティストの皆さんが飛び入り参加し、生徒を喜ばせました。期間中はスポーツ大会も行われ、生徒らはバドミントンやバレーボールで汗を流しました。

▲大山さゆり太鼓を体験する生徒（写真提供：西会津高校）

長年にわたる功績をたたえ表彰

自治功労者表彰式

町では、11月12日に令和2年度自治功労者表彰式を町役場で開催しました。長年にわたり町政の向上発展に貢献された14人に薄町長が表彰状や感謝状を贈り、その功績をたたえました。

▶写真左より、矢部丈夫さん、渡部信一さん、田中英喜さん、佐藤悟さん、薄町長、伊藤副議長

式では、薄町長が「長年にわたり各分野で尽力され、町政発展への功績と努力に対し、町民を代表し衷心より敬意と感謝の意を表します」と式辞を述べた後、町議会を代表して伊藤一男副議長があいさつしました。

その後、出席した受賞者の皆さんに薄町長が表彰状や感謝状を贈り、長年の功績を表彰ました。

式の最後には、功労表彰を受賞した田中英喜さんが「今回の受賞は諸先輩や共に活動してきた同僚の方々のご指導と励ましのたまもの。今後も微力ながら町の発展のために尽力していきたい」と謝辞を述べました。

令和２年度　表彰者・感謝状贈呈者［敬称略］

自治功労者表彰

■特別功労表彰［町政の向上発展に貢献］

元町議会議員　**宮　澤　秀　夫**

町議会議員として、3 期12 年の長きにわたり、議会の伸展と町政の向上発展に貢献。平成 11 年７月からは経済建設常任委員会委員長を４年間務め、議会の円滑な運営と活性化に尽力。令和元年 10 月高齢者叙勲で旭日単光章を受章。

■功労表彰［町政の向上発展に貢献］

前町消防団副団長　**田　中　英　喜**

前町消防団第４分団長　**山　口　茂　起**

■善行表彰［町政の向上発展に貢献］

エスオーインターナショナル株式会社(宮城県仙台市)
代表取締役　**佐　藤　　悟**

感謝状贈呈

■自治区長永年勤続者　［15 年勤続］

四 岐 自 治 区 長　**大　沼　喜　明**

■自治区長永年勤続者　［10 年勤続］

荒 木 自 治 区 長　**岩　橋　敬　二**

大舟沢自治区長　**五十嵐　靖　夫**

■自治区長永年勤続者　［５年勤続］

本町１自治区長　**渡　部　信　一**

前西平自治区長　**大　沼　　哲**

泥浮山自治区長　**伊　藤　　一**

黒 沢 自 治 区 長　**長谷川　　優**

■納税貯蓄組合長永年勤続者　［15 年勤続］

四岐納税貯蓄組合長　**大　沼　喜　明**

■納税貯蓄組合長永年勤続者　［10 年勤続］

上ノ尻六ノ一納税貯蓄組合長　**三　留　市　二**

上野尻６－２納税貯蓄組合長　**市　橋　修　一**

楢 ノ 家 納 税 貯 蓄 組 合 長　**矢　部　丈　夫**

議案16件、報告1件を審議
12月町議会定例会報告

12月4日から9日までを会期に開かれた令和2年第10回町議会定例会では、条例の制定および一部改正、令和2年度補正予算など、議案16件および報告1件が審議されました。町政の主要事項報告の内容および可決された議案は次のとおりです。

町政の主要事項報告から

西会津町シティプロモーション活動事業――

この事業は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、アフターコロナを見据え、町の認知度アップおよび地場産品振興による地域経済の活性化を目的としています。

主な内容は、会津乗合自動車株式会社の高速バス新宿線ラッピングバスの運行開始、ウェブサイト「日本の田舎、西会津町。」への誘因パンフレットの作製、ポータルサイト「日本の田舎、西会津町。」のリニューアルなどです。これらの取り組みにより町の認知度を高め、ふるさと応援寄附金の増収や町の関係人口の増加、移住・定住の促進につなげます。

▲高速バス新宿線ラッピングバス

ふるさと応援寄附金については、多くの皆さんよりご支援をいただき、12月3日現在、3081件、9千105万5千円の寄附が寄せられています。

有害鳥獣対策――

今年は町内において、ツキノワグマの人家近くへの出没が相次ぎ、特に10月から11月にかけて、連日、町役場に目撃情報や被害報告が寄せられました。これを受け町では、まず現地を確認し、近隣住民に注意を呼びかけるとともに、必要に応じて追払いや捕獲を行い、被害防止に取り組んでいます。

クマの捕獲数は12月1日現在で87頭と例年をはるかに上回っており、猟友会の皆さんの精力的な取り組みにより、集落内での人身被害は発生していません。

また、今年はイノシシの出没も相次ぎ、稲の踏み倒しや畦畔の掘り起こしなど、町内全域で被害が発生しています。町では電気柵設置の支援を進めており、設置した農地では被害が抑えられていますが、それ以外の場所では被害が拡大している状況です。なお、猟友会と連携して捕獲に取り組んでおり、本年度は12月1日現在で42頭を捕獲しましたが、個体数そのものが大きく増加していると考えられます。

今後は積雪期に入ることから、イノシシの巻狩りを定期的に実施し、捕獲のみならず捕獲圧による雪解け以降の出没抑制につなげ、また、地域の協力による活動強化として「わな猟免許」を取得した35人の皆さんが、各地区で効果的に活動できる体制整備を進めます。

ICT教育環境の整備――

町は、国が進めるGIGAスクール構想に対し、国の補正予算や新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用しながら、ICT教育環境の整備を進めてきました。11月中旬に小中学校の児童生徒全員に一人一台のタブレットパソコンの配付、全教室への電子黒板の設置が完了しました。

同時に、令和元年度の繰越事業による学校内の高速通信ネットワーク（高速無線LAN）整備事業もほぼ完了し、県内の他市町村に先駆けてGIGAスクール構想の実現が図られました。

また、ICT教育を推進するため、教育分野で活動経験のある地域おこし協力隊員1人を学校教育課に配置しました。現在、タブレットパソコンを活用したICT教育の推進をはじめ、西会津中学校が県から指定を受けて研究を進めている読解力向上のための教育や、地域学校協働本部との連携によるコミュニティスクールなどの教育に積極的に関わり取り組んでいます。

町国土強靭化地域計画の策定――

国では、地方公共団体の国土強靭化の取り組みを促進しており、補助金・交付金事業において予算の重点化、要件化、見える化を段階的に進め、地方公共団体等が国土強靭化地域計画に基づき実施する事業の財政負担軽減を行うこととしています。

町では、令和3年度の国の予算の要件化導入に向け、今年9月に国土強靭化地域計画を策定しました。

本計画は、東日本大震災から得た教訓を踏まえ、いかなる大規模自然災害等が発生しようとも、「致命的な被害を負わない強さ」と「速やかに復旧・復興できるしなやかさ」を備えた強靭な地域社会と、安全で安心なまちづくりのため、「西会津町総合計画（第4次）」や「西会津町まち・ひと・しごと創生総合戦略（第2期）」、「西会津町地域防災計画」をはじめ様々な分野の計画等との調和を図りつつ、「強くしなやかなまちづくり」という観点からの各種計画等の指針として策定しました。

計画期間は、令和2年度から令和6年度の5年間で、計画期間中でも、施策の進捗状況や社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要に応じて柔軟に見直しを行っていきます。

今冬の除排雪対策――

本年度も雪処理支援隊を設置し、7人体制での迅速な支援により、冬期間の安心を確保します。

また、除排雪費用助成については、豪雪対策本部の設置の有無にかかわらず、非課税の75歳以上の高齢者世帯や障がい者世帯等を対象に助成するものです。助成額は年間1万円で、申請により給付券を交付します。なお、この除排雪を行う事業者は、町内の事業所や個人事業主等を募集し、現在97事業者を登録しています。合わせて、除排雪事業者を紹介してほしいという問い合わせが数多くあることから、除排雪事業者について、広報紙やホームページ、「雪の相談窓口」で周知を図っていきます。

令和2年産米の作柄とモニタリング検査について――

農林水産省による10月30日発表の米の作況指数は、全国が「99」の「平年並み」、県内では、会津と中通りが「102」、浜通りが「103」で、共に「やや良」となったところです。

7月の長雨と日照不足により品質の低下が懸念されましたが、会津よつば農協への米の出荷状況を見ると、本町の一等米比率は10月30日現在95・3パーセントで、大きな影響はなかったと考えています。

しかし、全町的に山際にあるほ場で、イノシシと推察される被害が発生しており、農業共済加入者への収穫量減少に対する補償の手続きが進められているところです。

また、米の放射性物質検査については、本年産より全量全袋検査から旧市町村単位でのモニタリング検査に移行しました。検査は県が市町村と連携して行い、本町では早期出荷米の8月30日から始まり、11月9日には検査した旧1町10カ村全てで米の安全・安心が確認されています。

可決された議案

◆**町議会議員および町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例**＝公職選挙法の改正に伴う新たな条例の制定

◆**地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例**＝国の税制改正による地方税法の一部改正に伴う所要の改正のための制定

◆**町電気通信事業条例の一部改正**＝インターネット接続サービスの向上を図るため、使用区分および使用料を改正

◆**財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部改正**＝町で実施している園芸用パイプハウスおよび菌床栽培用パイプハウスの貸付け事業において、12年間の貸付け期間終了時に貸付者へ無償譲渡することなどについて、地方自治法の規定に基づく所要の改正

◆**町税条例の一部改正**＝給与所得控除額の変更など地方税法の一部改正に伴う所要の改正

◆**町国民健康保険税条例の一部改正**＝給与所得控除額等の変更に伴い、課税の軽減判定時において不利益がないようにするための所要の改正

◆**令和2年度一般会計補正予算（第9次）**＝ふるさと応援寄附金の増収に伴う事業経費追加のほか、各種事業費や職員の給与などの調整により8千927万7千円を減額

◆**令和2年度一般会計補正予算（第10次）**＝ふるさと応援寄附金の寄附額が想定を上回り増収となることからさらに5千万円を増額

◆**令和2年度特別会計等補正予算**

◆**財産の取得**＝西会津診療所の超音波診断装置の更新

◆**町道の認定**＝下松地内の町道下松村中線を新規に認定

◆**西会津国際芸術村の管理に係る指定管理者の指定**

安心安全な冬の生活維持のために尽力

町道路除雪事業感謝状贈呈式

町では、長年にわたり除雪事業に取り組んだ企業や団体、現場の最前線で除雪業務に献身的に取り組み、技術的にも優秀で後進の見本となる人へ、その社会的貢献を表彰する制度を本年度より新設しました。

11月18日、町役場で感謝状贈呈式が行われ、受賞者５人に感謝状が贈られました。式の中で薄町長は「道路除雪は冬期間における大変重要な業務。受賞者の皆さんにはその模範として、後進の育成や技術の継承に今後も尽力してしていただきたい」と式辞を述べました。

式の最後には、受賞者を代表し福地信雄さんが「安心安全な除雪業務に取り組むため、決意を新たに職務に臨んでいきたい」とあいさつしました。

◆感謝状贈呈者［敬称略］

福　地　信　雄	（新郷除雪ステーション）
長谷川　成　博	（奥川除雪ステーション）
海老名　富　二	（株式会社海老名建設）
長谷川　啓　二	（有限会社長谷川総合商事）
雅楽川　芳　江	（株式会社野沢商事）

▲感謝状を受ける福地さん

町民の食生活改善に貢献

食生活改善推進員感謝状贈呈式

12月３日、町公民館で食生活改善推進員感謝状贈呈式が行われ、６人の推進員に感謝状が贈られました。これは、食生活改善推進員を25年以上務め、顕著な成果をあげられた人へ贈られるものです。

式では薄町長が「食生活は健康づくりの原点。町民が健康で長生きできるまちづくりを進めていくために、推進員の皆さんの力を貸していただきたい」とあいさつしました。

その後、受賞者を代表して堀江恭子さんが「町民の食生活改善に尽くし、皆さんのおかげでこのような表彰をいただくことができた。これからも町民の皆さんの健康づくりのために一層活動に励んでいきたい」と謝辞を述べました。

◆感謝状贈呈者［受講順・敬称略］

堀　江　恭　子	（宝　川）
齋　藤　フミ子	（４町内）
橋谷田　百合子	（４町内）
高　橋　榮　子	（上野尻）
山　形　洋　子	（徳　沢）
安　部　美江子	（１町内）

▲感謝状を受ける堀江さん

ボート競技で東北大会優勝

鈴木爽夏さん 全国大会出場を報告

鈴木爽夏（さやか）さん（森野・喜多方高校２年）が11月27日に町役場を訪れ、ボート競技ダブルスカル（２人漕手）における東北大会での優勝と全国大会への出場を薄町長に報告しました。鈴木さんは中学３年からボートを始め、今回が初の全国大会出場とのことで、「自分の実力がどの程度か、自分の力を全て出し切る競技をしたい」と話していました。

なお、鈴木さんが出場する全国高等学校選抜ボート大会は、令和３年３月に静岡県浜松市で開催されます。

▲激励金を受け取る鈴木さん（写真右）

冬を迎え、除雪作業がスタート！

除雪事業出動式

12月１日、町除雪センターで令和２年度除雪事業出動式が行われました。式では、薄町長が「冬の町民生活における安心・安全、生活道路の確保に大きな役割を担っている皆さんの技術を発揮していただきたい」と訓示を述べました。また、技能員を代表して野沢除雪ステーションチーフの伊藤進也さんが「町民の安心安全な生活道路の確保に万全の体制で取り組んでいきます」と決意表明を行いました。

１.決意表明を行う伊藤さん（写真中央）／２.除雪車通常点検の様子

自力での雪処理が困難な世帯を支援します！

雪処理支援隊出動式

町では雪処理支援隊を今年も設置し、その出動式を12月１日に町役場で行いました。式では、薄町長が「高齢者などの立場に立って、事故と健康に留意して取り組んでいただきたい」とあいさつしました。

雪処理支援隊は、自力での除雪が困難で、家族や集落からの支援を受けることが難しい世帯の除雪支援を令和３年３月31日まで行います。

瑞宝単光章 警察官として42年にわたり尽力

佐藤政雄さん 秋の叙勲受章を報告

佐藤政雄さん（出ヶ原、写真中央）が令和２年秋の叙勲において瑞宝単光章を受章しました。11月26日、佐藤さんは町役場を訪れ、薄町長、大竹副町長に受章を報告しました。

佐藤さんは高校卒業後、警察官として田島、郡山、いわき中央警察署などで42年間の長きにわたり交通違反取り締まり業務など管内の交通安全に尽力し、現在は民生児童委員を務めています。

宝くじの社会貢献広報事業

コミュニティ助成事業で祭礼用太鼓などを修繕

野沢２町内会では、今年度の一般財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業により、野沢祭礼などで使用する大太鼓と山車用提灯等の修繕を行いました。

コミュニティ助成事業は、地域社会の発展と住民福祉の向上などを目的に「宝くじの社会貢献広報事業」として宝くじの受託事業収入を財源に実施されています。

町ではコミュニティ助成事業について随時相談を受け付けていますので、お気軽に問い合わせください。

〈問い合わせ先〉

企画情報課　企画政策係　☎４５―４５３６

▲修繕した大太鼓（左）と山車用提灯（右）

議案８件を審議・可決

町議会臨時会報告

11月26日に臨時会が開かれ、次の議案８件が原案のとおり審議・可決されました。

- ◆町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正
- ◆議会議員の議員報酬及び費用弁償条例の一部改正
- ◆職員の給与に関する条例の一部改正
- ◆令和２年度一般会計補正予算（第８次）
- ◆令和２年度国民健康保険特別会計補正予算（第５次）
- ◆令和２年度介護保険特別会計補正予算（第２次）
- ◆令和２年度水道事業会計補正予算（第２次）
- ◆令和２年度下水道事業会計補正予算（第２次）

以下は有料広告です。詳細は広告主に問い合わせください。

有料広告を募集しています

紙面に掲載する有料広告を募集しています。
詳しくはお問い合わせください。

◆大きさ　１枠当たり縦４．０㎝×横８．５㎝
◆掲載料　１枠当たり５，０００円／月

＜問い合わせ先＞
企画情報課　情報政策係　☎４５－４５３６

お知らせ INFORMATION

ケーブルテレビさゆりチャンネル１月の放送案内

◆ADDressとワーケーション

ワーケーションに関するトークセッションを収録した番組です。

◆喜多方地方地域づくり講演会

演題「人口減をチャンスへ～地域資源を活かした持続的発展と循環型社会の構築～」

〈問い合わせ先〉

（一社）西会津ケーブルネット　☎45―4461

中小事業者の固定資産税の減免について

新型コロナウイルス感染症の影響で事業収入が減少している中小事業者の令和３年度の固定資産税を減免します。

減免の対象は、事業用の家屋及び設備等の償却資産に対する固定資産税です。

◆減免要件および特例率

令和２年２月から10月までの間において連続する３カ月間の収入合計額が、１年前の同時期の３カ月間の収入合計額と比べて次の要件を満たす場合。

要　件	特例率
事業収入の合計額が50%以上減少	全額免除
事業収入の合計額が30%以上50%未満減少	半額免除

◆申告書について

申告書の提出には、税理士・公認会計士・弁護士等の認定経営革新等支援機関の確認が必要となります。

申告書は町ホームページでダウンロードできます。詳しくは中小企業庁ホームページなどでご確認ください。

西会津町ホームページ

中小企業庁ホームページ

〈提出・問い合わせ先〉

町民税務課　税務係
☎45―2212

償却資産の申告をお願いします

固定資産税は、土地、家屋のほか償却資産（事業用の設備、機械、車両といった資産）に対しても課税されます。

償却資産の所有者は、毎年１月１日現在で所有する償却資産を申告することになっています。

町では、会社や個人で工場や商店などを経営している対象者に関係書類を12月中旬に発送していますので、申告期限の２月１日（月）まで申告をお願いします。

売却や滅失などにより資産が無くなった場合、届出をしないと引き続き課税されることになりますので、償却台帳に記載されている資産をもう一度確認してください。

また、申告用紙が届かない場合や、新たに事業用資産を所有した人は、次まで問い合わせください。

〈提出・問い合わせ先〉

町民税務課　税務係
☎45―2212

詐欺被害に遭わないために

預貯金詐欺やキャッシュカード詐欺などの手口として、警察官などをかたった電話が増えています。「キャッシュカード」の話題が出たら、詐欺の可能性が高いです。

次のポイントに注意し、詐欺被害を防ぎましょう。

◆被害防止のポイント

①留守番電話機能を活用する
②キャッシュカードは渡さない
③暗証番号を教えない

〈問い合わせ先〉

町民税務課　町民生活係
☎４５―２２１５

血圧管理教室のお知らせ

血圧管理で血管力を高めよう！　～血管がよろこぶ運動習慣編～

いつまでも健康でいるためのポイントは「日々の血圧管理」。今回は，血圧と運動習慣について一緒に学んでいきましょう。

昼の部　**午後１時30分～**

令和３年１月12日（火）　保健センター
13日（水）　町役場３階大会議室
22日（金）　新郷連絡所
29日（金）　奥川みらい交流館

夜の部　**午後６時30分～**

令和３年１月25日（月）　町役場３階大会議室

参加無料

住んでいる自治区に関係なく、都合の良い日程に参加できます。

開催日の３日前までに、健康増進課健康支援係へ電話で申し込みください。

〈申込み・問い合わせ先〉　健康増進課 健康支援係 ☎４５―４５３２

喜多方税務署からのお知らせ

◆申告書はパソコンやスマホから

マイナンバーカードとマイナンバーカード対応スマートフォンを使って、国税庁ホームページから専用アプリをダウンロードすると、簡単な手順で申告書の作成とデータの送信ができます。

また、税務署長が通知した専用のＩＤ・パスワードでも申告書データを送信できます。詳しくは国税庁ホームページを確認してください。

◆申告に関する相談について

所得税・消費税・贈与税の確定申告に関する相談は、「確定申告電話相談センター」をご利用ください。

喜多方税務署に電話をかけ、音声ガイダンスに従い「０番」を選択してください。

〈問い合わせ先〉

喜多方税務署
☎０２４１―２４―５０５０
（音声ガイダンスに従い、「２番」を選択してください）

自動車の登録はお済みですか

自動車税種別割は、毎年４月１日現在で、運輸支局に登録されている所有者（割賦販売購入の場合は使用者）に課税されます。

例年、「持っていない車の納税通知書が来た」「納税通知書が来ない」などの問い合わせが数多く寄せられています。納税通知書が間違いなく届くように、次のような場合は令和３年３月31日（水）までに運輸支局で登録手続きを済ませましょう。

①住所が変わった
②自動車を人に譲った
③廃車した　など

〈問い合わせ先〉

会津地方振興局　県税部
課税第二課
☎０２４２―２９―５２６１

以下は有料広告です。詳細は広告主に問い合わせください。

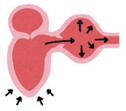
新年、みんなで血圧測定を始めよう
血圧管理のススメ！

町では、健診受診者において高血圧に該当する人が、国や県に比べて高く、高血圧により発症の危険が高まる脳血管疾患、心疾患などの死亡率も高い状況で推移しています。

血圧は健康のバロメーター。新年、家族みんなで血圧管理を始めてみませんか？

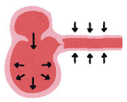
知っておこう！血圧のこと

心臓は1分間に50～80回も拍動し、血液を全身の血管に送り込んでいます。その心臓から送り出された血液が、血管の壁に与える圧力が「血圧」です。



○上の血圧（収縮期血圧）

心臓が収縮して、動脈に血液が送り出される時の血圧



○下の血圧（拡張期血圧）

心臓が拡張して、静脈から血液が補充される時の血圧

収縮期、拡張期のどちらか一方、もしくは両方が常に高く、血管の壁に高い圧力がかかっている状態を「高血圧」と言います。

高血圧の状態が続くと、血管は高い圧力に耐えようと厚く硬くなり（動脈硬化）、ある日突然、脳血管疾患や心疾患などを引き起こす原因となります。

高血圧症の９割は、不摂生な生活習慣が要因です。心当たりはありませんか。下の別表を参考に、自分の生活習慣を振り返ってみましょう。

別表　生活習慣チェックリスト

生活習慣	チェック	生活習慣	チェック
濃い味付けや油っこい食事を好む	□	飲酒量が多い	□
野菜はほとんど食べない	□	喫煙している	□
運動不足	□	ストレスが多い	□
太り気味	□	家族に高血圧の人がいる	□

冬の血圧、ここに注意！

冬場は血管が体温を逃がさないよう血管が収縮して血圧が高くなります。

特に、暖かい室内から寒い屋外等に出た時など、急激な温度の変化で血圧が急変する「ヒートショック現象」は要注意です。血圧の急変は血管に大きな負担をかけ、脳卒中や心筋梗塞を引き起こす危険性が高まります。

次のような点に気を付けて過ごしましょう！

1．しっかり防寒

首筋、背中、足元をしっかり保温し、温度差を和らげる工夫をしましょう。

2．急な行動は控える

特に起床後２時間以内は要注意と言われています。朝はゆっくりと余裕をもって過ごしましょう。

3．入浴時の温度差は最小限に！

あらかじめ脱衣所と浴室を温めておき、40度程度のお湯に5～10分程度つかるようにしましょう。

皆さんの血圧管理を応援します！

血圧管理は、自分の平均血圧値を知ることが第一歩です。

町では、自動電子血圧計購入費の補助や、血圧管理教室の開催（18ページを参照）、健康ポイント手帳などで、皆さんの血圧管理の実践を応援しています。また、随時相談も受け付けています。

詳しくは、健康増進課健康支援係までお気軽に問い合わせください。

すごいな！むし歯のない子

11月19日、３歳児４人を対象に健康診査を行った結果、全員むし歯がありませんでした。

矢部 衣織（いおり）ちゃん（中ノ沢）

仲川 日菜（ひな）ちゃん（平明）

佐藤 蓮飛（れんと）くん（徳沢）

青津 凜（りん）ちゃん（縄沢）

「いきいきライフ」に関するお問い合わせは、健康増進課・健康支援係まで（☎45-4532）

西会津町チーム大健闘!!

第32回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会

過去最高の29位

今年で32回目を数える、市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会「ふくしま駅伝」が11月15日に開催されました。西会津町チームは、過去最高順位となる29位でゴールし、選手は大健闘を見せました。

コロナ禍の大会

今大会は、新型コロナウイルス感染拡大予防に伴い、郡山市の郡山ヒロセ開成山陸上競技場をスタートし、県庁をゴールとする9区間50・2キロに短縮しての大会となり、町村混合チーム「希望ふくしま」を含め、県内59市町村から、昨年より3チーム少ない50チームが出場しました。

西会津町チームは、監督の佐藤悦美さんを中心に、猛暑が続いた7月から週3回、さゆり公園で練習を重ね、昨年の総合成績30位以上の成績を目標に取り組んできました。

思いつないで

大会当日は天候に恵まれ、これまでの女子区間で最長となった強豪揃いの1区4・7キロを、昨年15区で好走した中学3年生の江川愛彩美選手に任せることとなりました。

江川選手は、前に数名の選手が見える絶好の位置で中継所に入る力走を見せ、襷を受け取った2区の清野樹選手は、今大会初出場のプレッシャーを跳ね除けて順位を3つ上げ、エース区間の3区で待つ伊藤大河選手に襷をつなぎました。今年8月に行われた福島県高等学校新人陸上競技大会会津地区予選会の男子5000メートルを制して流れに乗っている伊藤大河選手は、大会最長区間を19位で走り抜け、順位を9つ上げて4区につなぎました。

4区初出場の岩原遥音選手は、前後の選手の姿が見えない難しいレース展開の中、練習どおりの走りを見せ、順位を2つ上げました。レース中盤のカギを握る5区7・0キロは、今年社会人となった主将の伊藤亜久里選手が順位を3つ上げてチームを引っ張りました。

その後、6区の高野駿選手、7区の鈴木俊哲選手、8区のふくしま駅伝初出場となった伊藤詩野選手が、事前の設定タイムをそれぞれ40秒程度上回る力走を見せてアンカーにつなぎました。

最終9区は昨年に引き続き大場悠選手が務め、ゴール前では1人を追い抜く意地の走りを見せ、総合29位でゴールしました。

今大会を通して

今回の大会は、新型コロナウイルス感染拡大予防対策のため、ふるさと選手が起用できないなどさまざまな制約がありましたが、選手たちは30位以内とした目標を達成しました。沿道での応援の自粛により応援ツアーは行えませんでしたが、町民の皆さんの心強い思いを胸に、選手一人一人の持つ力を結集した大会となりました。

襷（たすき）つないだランナー

1区［女子4・7キロ］江川愛彩美（西会津中3年）
2区［男子中学生3・0キロ］清野樹（西会津中2年）
3区［男子9・3キロ］伊藤大河（会津高2年）
4区［男子中学生3・9キロ］岩原遥音（西会津中3年）
5区［男子7・0キロ］伊藤亜久里（東亜テクニカル㈱会津若松営業所）
6区［男子4・8キロ］髙野駿（西会津中3年）
7区［男子5・7キロ］鈴木俊哲（会津学鳳高1年）
8区［女子中学生3・4キロ］伊藤詩野（西会津中2年）
9区［男子8・4キロ］大場悠（西会津町役場）

▶江川愛彩美選手（1区・写真左から2番目）

▶伊藤亜久里選手（5区）

▶髙野駿選手（6区）

▶大場悠選手（9区・写真中央）

▶伊藤大河選手（3区・写真左）

▶鈴木俊哲選手（7区）

写真提供：橋本真幸さん（須賀川市）

集落支援だより

皆さんこんにちは！
地域おこし協力隊の渡辺です。
今月号から、池田隊員と毎月交代で情報をお届けします。
今月の集落支援だよりでは、弥生集落の訪問、人足、ドローン撮影について紹介します。

地域おこし協力隊　集落支援担当
渡辺（わたなべ）　貴洋（たかひろ）隊員

弥生集落訪問

弥生在住の小椋ヤス子さん

弥生集落は、高齢化率が100％に達している集落です。春から秋にかけて3世帯が集落内で暮らし、冬期間は、豪雪のため集落外で生活を送っています。

冬が近づき始めた11月上旬が今年度最後の訪問となりました。弥生に住んでいる住民の皆さんは、「生まれ育ったここ（弥生）がいい」と話していました。また来年の春に元気にお会いできることを楽しみにしています。

秋の人足を実施

上谷地区での人足作業

上谷地区の人足の現状と今後の支援の可能性を探るため、初めて同地区の人足に参加しました。程窪、泥浮山、長桜の3集落合同で計18名により作業を行いました。

国道49号入口から集落までの約4キロにわたる側溝の落ち葉上げは、とても重労働でした。しかし、集落の皆さんと交流しながらの作業はとても楽しく感じました。

中町集落での落ち葉上げの人足

中町集落では、地域おこし協力隊4名に協力してもらい、水路の落ち葉上げを行いました。

初めて人足作業を体験した隊員も、住民と話しながら交流し里山の生活に触れていました。

奥川地区では、大学生の力を活用して人足のボランティアの受け入れを行っています。中町集落では、春は山菜、秋はなめこを参加した学生が自ら採り、慰労会で味わうといった体験を行っています。

人足に参加した学生からは、普段の生活ではなかなか体験できないことができるいい機会だという声が聞かれます。

ボランティアの受け入れの際に、今あるものを活かし、ありのままを体験してもらうことが、継続して楽しく交流するために必要かもしれません。

大舟沢集落ドローン撮影

幕ノ内でのドローン撮影

町ケーブルテレビの協力のもと、重点4集落のドローン撮影を行っています。

今回は、電波状況の関係で夏に撮れなかった大舟沢集落の幕ノ内にて、集落と飯豊山の眺望を撮影しました。記録映像として残すことで、文字や写真とはまた違った印象を持つことができます。今後は、大舟沢集落の本村と越戸の撮影を行う予定です。

「集落支援だより」に関するお問い合わせは、町役場奥川支所まで（☎ 49-2001）

公民館だより

西中図書館　新刊オススメ本

『脳のアクセルとブレーキの取扱説明書』
［真壁 昭夫、中野 信子 著］
白秋社

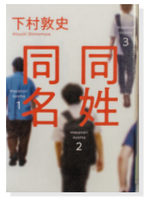
子育て、外見、人間関係といった多くの人が悩みを抱える分野について、脳科学と行動経済学の専門家二人がそれぞれの立場からアプローチし解決方法を提示していきます。

本書の目次の一部です。「面倒な人を外見で見抜く方法」「エネルギーの大食漢・脳が好む美人の条件」「松竹梅は『竹』を売るための戦略」「昨日のことを忘れ昔のことを覚えている記憶の不思議」

この取扱説明書を読んで、脳のアクセルとブレーキをきちんと踏み分け、生き抜く力の一助にしてみませんか。

『志麻さんの気軽に作れる極上おやつ』
［志麻 著］
マガジンハウス

『デルタの羊』
［塩田 武士 著］
KADOKAWA



『同姓同名』
［下村 敦史 著］
幻冬舎

『夜明けのすべて』
［瀬尾 まいこ 著］
水鈴社

町民ギャラリー　フォトクラブどんぐり

今月は、フォトクラブどんぐり・髙橋政二（まさじ）さん（滑沢）の作品です。

作品紹介

滑沢集落の全景です。撮影地は滑沢集落の南側、向山の２次農構でたばこ生産団地として造成した場所です。

滑沢集落はもちろん、飯豊山も一望できる絶景の場所です。周囲を山に囲まれた静かな所で、過疎の進んでいる集落ですが、あまり不自由さも感じず、みんな元気で生活しています。

作品名　『冬の里』

「公民館だより」に関するお問い合わせは、生涯学習課・生涯学習係まで（☎ 45―3244）

Person

町民バトンタッチ

宮川（みやかわ） 大祐（だいすけ） さん［真ヶ沢］

◆**趣味は？**
車、人間育成

◆**特技は？**
早起き

◆**熱中していることは？**
昔のコミック収集（2,500 冊）

◆**自分を一言で表現すると？**
生真面目で細かいＡ型人間

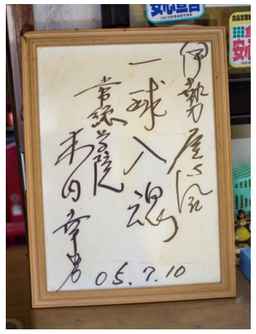
◆**あなたのモットーは？**
やればできる。

◆**最近感動したことは？**
長女が成人したこと

◆**これからやってみたいことは？**
長女と次女が車の運転免許を取得したので、助手席でドライブ

◆**次の方を紹介してください**
Ｙ・Ｎさん

とっておきの物は？



先日亡くなられた常総学院高校硬式野球部の木内幸男元監督のサイン

以前、宮古のそばを食べに来た帰りに、よく店に寄ってくれていました。その時にいただいたサインは今でも店に飾っています。

塚原英貴 さん（12 月号）からメッセージ

町民バトンタッチに出てくれてありがとう。

Column

協力隊リレーコラム

西尾（にしお） 佳那（かな） 隊員

神奈川県出身。東京芸術大学美術研究科修了。現代アーティストとして国内外で活動中。

地域×アート

西会津町の皆さん、はじめまして。今年の９月から地域おこし協力隊の芸術分野に着任しました西尾佳那です。これまで長崎や香港など国内外で地域との関わり、地域課題や風土をテーマに芸術作品を制作したり、アートプロジェクトを行ったりしてきました。この経験を生かして、ここ西会津町でも地域性を生かしたアートプロジェクトを行い、地域を盛り上げていきたいと考えています。

都市の中で育った私は、ものすごい速さでさまざまなことが変化していき、絶えず新しいものが生まれて消えていく、そんな日々に疑問を抱えていました。季節や自然に寄り添い、長い歴史の中で培われてきた暮らしを大切にする、西会津町には本来、人が〝生きていく〟上で大事にすべきことの答えがあるような気がしました。

そう言った気付きを芸術として表現することで、価値の揺らぎを感じ、豊かな視点を育みます。ここ西会津町の風土や暮らしの中での気付きを表現するアート企画を行っていきたいと思います。

Dream

聞いて！わたしの夢

［２年・新 生徒会副会長］

伊藤（いとう） 詩野（しの） さん

◆私の夢――

私は、将来、医療関係の仕事に就きたいと考えています。保育園に通っていた頃、風邪をひいた時にいつも診てもらっているお医者さんに憧れていました。いつも優しく私の話を熱心に聞いてくださる先生でした。そして、その先生への憧れから、自分も医療に関わる仕事がしたいと思うようになりました。

◆努力していること――

今、私が心掛けていることは、授業に集中することです。分からない部分は必ず先生に質問をするようにして、家に「分からない」を持ち帰らないようにしています。

◆未来の自分に一言――

自分のやりたいこと、好きなことができていますか？

どんな道に進んでも、きっと上手くいきます。前を向いてがんばれ!!

戸籍の窓口

（11 月受付分）

■ まちの人口

	12月１日現在	（前月比）
人　口	６，０２８人	（－　４人）
男	２，９１８人	（－　３人）
女	３，１１０人	（－　１人）
世　帯	２，５８３世帯	（＋　２世帯）

■ ご結婚おめでとう

高松　風人	会津若松市
伊勢亀　優花	９町内２

■ お悔やみ申し上げます

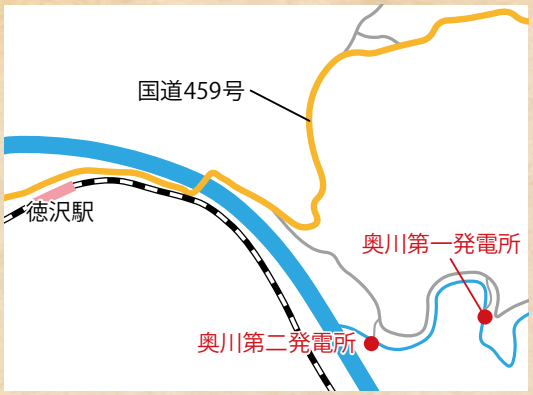
齋藤　豊一	（90）	耕一郎	父	１町内
新田　義友	（85）	拓真	祖父	２町内
須藤　唯子	（87）	赤城 玄	母	４町内
齋藤　吉三	（100）	三留 満	父	５町内
矢部　孝三	（86）	秀一	父	９町内２
新田　裕康	（80）	新也	父	萱本
久保田　市江	（91）	八幡 修二	父	黒沢
山口　國子	（97）	健	叔母	高目
伊藤　美二	（72）	信介	兄	樟山
佐藤　昭三	（91）	久一	父	滝坂
猪俣　キヨノ	（87）	典子	母	小山

地域に伝わる伝説や民話、文化財などを紹介

にしあいづ物語100選 その45

文：矢部 征男

奥川近代化へのシンボル ２つの水力発電所



奥川は飯豊山を水源地とし、阿賀川に合流する長さ20kmあまりの水量豊かな河川です。

その阿賀川との合流地点付近の渓谷に２つの水力発電所があります。およそ100年前に建設され、今も稼働を続ける歴史ある発電所です。奥川第一発電所（最大出力1,000kW）は大正９年（1920）に完成しました。発電所の上流部にダムを建設し、そこから岩山をくり抜いて約600mの水路を通り約39mの落差を利用した発電所です。さらに大正10年（1921）にはこの水路を延長し、約20mの落差を利用して奥川第二発電所（最大出力560kW）が建設されました。

奥川第一発電所

会津地方では、明治34年（1901）に建設された東山発電所が最も古いといわれていますが、大正時代初め頃の日本では繊維工業の近代化や化学工業が発達し、電灯以外にも電力需要が高まっていたのです。猪苗代湖から流れ出る日橋川（にっぱしがわ）を利用した大きな水力発電所が建設されたのもこの時期であり、東京方面へと送電されています。

奥川第二発電所

奥川に発電所が建設されたことで、弥平四郎・大舟沢集落を除く奥川地区全家庭に、「十燭灯（じっしょくとう）（“燭”は昔の明るさの単位、約15Wの明かりのことで家庭用としては暗い）」１個の制約はありましたが、初めて電灯が灯されました。また、この電力を利用して徳沢地区に化学工場を建設する計画もありましたが、実現には至りませんでした。

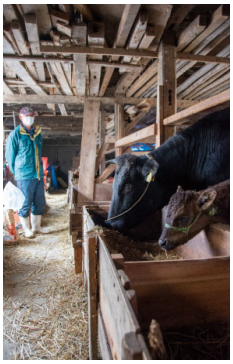
また発電所のダム建設により、それまで行ってきた漁業や川を利用する木材運搬に影響が及ぶとして、当時奥川村議会ではその補償を求める決議をしています。

この後、昭和時代初めには世界的な経済的不況や豪雪などの自然災害も重なり、豊富な電力を活用する地区の発展は叶いませんでしたが、近代化を目指した貴重な「遺産」として記憶したい１つといえるでしょう。

（参考文献『西会津町史第５巻下』）

今月の表紙

今月は、新年の干支「丑（うし）」にちなんで、畜産を営む三瓶純一さん（山浦）にご協力いただき、親子の牛を撮影しました。少なくなりましたが町内にも畜産に勤しむ農家があります。親子そろって仲良く餌を食べる様子が印象的でした。



編集後記

明けましておめでとうございます。令和３年が皆さんにとって、昨年よりもモゥ～っと良い１年になりますよう、心よりお祈りいたします。

令和２年もあっという間に過ぎました。４月から広報紙担当となり、本号で早くも９冊目。令和３年も気軽に手に取っていただける広報紙作りを心掛け、健康第一で頑張りたいと思います！（秦）

Nishiaizu
広報にしあいづ №747　令和３年１月号
発行／福島県西会津町　編集／企画情報課　TEL 0241-45-2211（代表）
ホームページ　https://www.town.nishiaizu.fukushima.jp/
PRINTED WITH SOY INK
この広報紙は、環境に優しい大豆油インキを使用しています。